



日本リーダーシップ学会版

リーダーシップ用語集

【初版】

一般社団法人 日本リーダーシップ学会

序文

本書は、日本リーダーシップ学会（以下、JLA）プロモーション部会リーダーシップ事例WGで作成した事例集の事例検索システムを検討の際、学会として検索ワードをオーソライズすべきとの議論より、2023年秋リーダーシップ用語編纂委員会を立ち上げ、JLA版リーダーシップ用語集としてまとめたものである。

JLAのプロモーション部会/事例を知るWGでは、リーダーシップの事例を集め事例集にまとめて会員に活用してもらえよう活動をしている。目的は、会員の主体的参加で成果を発信することにより、リーダーシップ学会の存在価値を上げ、会員を増やし、さらに成果を生み出すというスパイラルアップにある。最終的には事例集から必要な事例をキーワード検索できるようにしたいと考えているが、リーダーシップに関する用語としてオーソライズされたものが無いこともあり、用語集編纂委員会を編成してリーダーシップの用語を検討しJLA版用語集の編纂を計画した。

まず、会員に用語編纂委員会への参加を呼びかけ、結果7名の委員が集まり、活動計画を策定し、編集方針に基づき編纂を進めた。特にリーダーシップの特性を示す用語についてはリーダーシップ論の歴史に従って整理することとし、1章にまとめることにした。2024年末に素案を完成させて会員に公開し、2026年発行のJLA論文集に掲載することを目標に活動を開始した。

過去に発行されたJLA論文集より抽出したリーダーシップに関連する用語および委員がそれぞれ検討した用語700余りを候補用語とした。これらを、

- 1) リーダーシップを論じる上で必須と思われるもの（1章）、
- 2) **リーダーシップ、**論、**理論などと表記されるもの（2章）、
- 3) これまでに使われてきた慣用語（3章）、

を採用するという評価基準を設けて評価し、約200の用語に絞り込み、さらに詳細検討を行い、用語集として残すべき用語を最終決定した。

最終決定された候補用語について、それぞれ和文、英文およびリーダーシップに関心がある専門外の人が理解し得る必要最低限の解説文を作成することとした。併せ、解説文作成時に参考資料などについての情報は別途残すことにした。目次に意図を持たせ、作成した目次に基づき用語を並べ替え、整理してJLA用語集初版として本書を完成させ、ここで会員に公開することができた。

今後は、得られた評価、意見を反映させて都度改訂し完成度を上げるとともに、定期的なメンテナンスにより不足の用語、新たな用語などの追加、修正を行い、将来的には一般にも公開できる体制を整えたいと考えている。

（小山理子、JLA第9回研究講演会論文集（2024）、pp1-2より抜粋）

用語集をご利用の会員の皆様、是非ご意見、ご感想を事務局宛お寄せください。いただいたご意見を参考に改善を進めていきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2024年12月吉日

リーダーシップ用語集編纂委員会メンバー（所属は発足当時）

幹事 我妻 隆夫（JLA）

委員 新井 敏夫（工学院大学）

〃 小山 理子（京都光華女子大学短期大学部）

〃 二上 武生（工学院大学）

〃 根本ディーコン雅子（(株)L.C.Lトランスフォームコーチング）

〃 古田 大悟（(株)ライフエレメンツ）

〃 矢野 由香里（実践女子大学大学院）

（50音順）

目次

1.	リーダーシップの理論を示す用語 Terms Indicating Leadership Theory	----	1
1.1	リーダーシップ特性理論 Leadership Trait Theory		
1.2	リーダーシップ行動理論 Leadership Behavior Theory		
1.2.1	行動アプローチ Behavioral Approach		
1.2.2	クルト・レヴィンの3つのリーダーシップ・スタイル (アイオワ研究) Kurt Lewin's 3 Leadership Style (Iowa Studies)		
1.2.3	オハイオ研究 Ohio State Leadership Studies	----	2
1.2.4	ミシガン大学研究モデル University of Michigan Studies		
1.2.5	マネジリアル・グリッド理論 The Managerial Grid		
1.2.6	PM理論 PM Theory Performance-Maintenance Theory	----	3
1.3	コンティンジェンシー理論 (状況依存理論) Contingency Theory (Situational Contingency Theory)		
1.3.1	フィドラーの最適リーダーシップ理論 Fiedler's Contingency Model		
1.3.2	パス・ゴール理論 Path-goal Theory		
1.3.3	シチュエーションナル・リーダーシップ理論 (S L 理論) Situational Leadership Theory	----	4
1.4	関係性志向のリーダーシップ理論 Relationship-Oriented Leadership Theory		
1.4.1	リーダーシップ代替理論 Leadership Substitutes Theory		
1.4.2	リーダーシップ信頼蓄積理論 Idiosyncrasy Credit Theor	----	5
1.4.3	リーダー・メンバー交換理論 (LMX 理論) Leader-Member Exchange Theory		
1.5	変革的リーダーシップ理論 Transformational Leadership Theory		
1.5.1	ビジョナリー・リーダーシップ Visionary Leadership		
1.5.2	カリスマ的リーダーシップ Charismatic Leadership	----	6
1.5.3	変革型リーダーシップ Transformational Leadership		
1.6	リーダーシップ開発論 Leadership Development リーダーシップ発達論 Leadership Developmental Theory		
1.6.1	経験学習型リーダーシップ開発 Experiential Learning Leadership Development		
1.6.2	知識・スキル型リーダーシップ開発 Knowledge and Skill-Based Leadership Development	----	7
1.6.3	リーダーシップ開発の社会変革モデル (SCM) Social Change Model of Leadership Development		
1.7	集合的リーダーシップ Collective Leadership		
1.7.1	シェアード・リーダーシップ Shared Leadership		
1.7.2	コレクティブ・ジニアス Collective Genius	----	8
1.7.3	DAC フレームワーク DAC Framework		
1.8	その他 Others		
1.8.1	サーバント・リーダーシップ Servant Leadership		
1.8.2	オーセンティックリーダーシップ Authentic Leadership		
1.8.3	インフォーマル・リーダーシップ Informal Leadership	----	9
	1章用語 (和文, 英文) 索引	----	10

2.	リーダーシップに関する固有の用語	Specific Terms Related to Leadership	---- 11
2.1	アジャイルリーダーシップ	Agile Leadership	
2.2	委任型リーダーシップ	Delegating Leadership	
2.3	インクルーシブ・リーダーシップ	Inclusive Leadership	
2.4	エモーショナルリーダーシップ (ダニエル・ゴールマンの6つのリーダーシップ・スタイル, EQ型リーダーシップ)	Emotional Leadership Emotional Intelligence Quotient	
2.4.1	ビジョン型リーダーシップ (権威主義型リーダーシップ)	Visionary Leadership	----- 12
2.4.2	コーチ型リーダーシップ	Coaching Leadership	
2.4.2.1	コーチ型リーダー	Coaching Leader	
2.4.3	関係重視型リーダーシップ (親和型リーダーシップ)	Affiliative Leadership	
2.4.4	民主型リーダーシップ (民主主義型リーダーシップ)	Democratic Leadership	
2.4.5	ペースセッター型リーダーシップ (先導型リーダーシップ)	Pacesetting Leadership	
2.4.6	強制型リーダーシップ (強圧型リーダーシップ)	Commanding Leadership	
2.5	エンパワーメント・リーダーシップ	Empowering Leadership	---- 13
2.6	課題志向型リーダーシップ	Task-Oriented Leadership	
2.7	課題動機型	Task-motivated type	
2.8	関係動機型	Relationship-motivated type	
2.9	教示型リーダーシップ	Directive Leadership	
2.10	グローバルリーダーシップ	Global Leadership	
2.11	経験学習型リーダーシップ	Experiential Learning Leadership	
2.12	参加型リーダーシップ	Participative Leadership	
2.13	支援型リーダーシップ	Supportive Leadership	
2.14	指示型リーダーシップ	Directive Leadership	---- 14
2.15	状況応変型リーダーシップ	Context-sensitive Leadership	
2.16	説得型リーダーシップ	Persuasive Leadership	
2.17	セルフ・リーダーシップ	Self-leadership	
2.18	専制型リーダーシップ	Autocratic Leadership	
2.19	対象対応型リーダーシップ	Targeted Leadership	
2.20	達成型リーダーシップ	Achievement-Oriented Leadership	
2.21	ネットワーク型リーダーシップ	Network Leadership	
2.22	フォロワー	Follower	
2.23	放任型リーダーシップ	Laissez-faire Leadership	---- 15
2.24	民主型リーダーシップ	Democratic Leadership	
2.25	リーダーシップ	Leadership	
2.26	リーダーシップ開発	Leadership Development	
2.27	リーダーシップ教育	Leadership Education	
2.28	リーダーシップ行動	Leadership Behavior	
2.29	リーダーシップ自己効力感	Leadership Self-efficacy	
2.30	リーダーシップ・スタイル	Leadership Style	
2.31	リーダーシップ論	Leadership Theory	
	2章用語 (英文) 索引		---- 16

3. リーダーシップに関連する一般用語	General Terms Related to Leadership	----	17
3.1	7S 7S		
3.2	SECIモデル SECI Model		
3.3	アート思考 Art Thinking		
3.4	アンコンシャスバイアス Unconscious Bias		
3.4.1	インポスター症候群 Imposter Syndrome		
3.4.2	確証バイアス Confirmation Bias		
3.4.3	集団同調性バイアス Groupthink Bias		
3.4.4	ステレオタイプバイアス Stereotype Bias		
3.4.5	正常性バイアス Normalcy Bias	----	18
3.4.6	ハロー効果 Halo Effect		
3.5	エフェクチュエーション Effectuation		
3.6	カッツの3能力 Katz's Three Skills		
3.7	期待理論 Expectancy Theory		
3.8	機能横断型チーム Cross-functional Team		
	Cross Functional Team		
3.9	帰属理論 Attribution Theory		
3.10	共感力 Empathy	----	19
3.11	共働意識, 協働意識 Sense of Collaboration		
3.12	グループ・シンク, 集団浅慮 Groupthink		
3.13	経験の共有 Experience Sharing		
3.14	権限 Authority		
3.15	牽引力 Traction Power		
3.16	コーゼーション Causation		
3.17	行動指針 Behavioral Guidelines		
3.18	行動変化 Behavior Change		
3.19	行動変容 Behavioral Change		
3.20	行動理論 Behavior Theory	----	20
3.21	五段階集団発展モデル, タックマン集団発展モデル, タックマンの集団発達モデル, タックマンモデル		
	Five-stage Group Development Model		
	Tuckman's Stages of Group Development		
3.22	サーベイ・フィードバック Survey Feedback		
3.23	三段階変革プロセス Three-stage Change Process		
3.24	自己意識化 Self-awareness		
3.25	自己確信 Self-assurance		
3.26	自己管理力 Self-management Skills		
3.27	自己肯定感 Self-esteem		
3.28	自己効力感 Self-efficacy	----	21
3.29	自己志向動機 Self-directed Motivation		
3.30	自己実現 Self-realization, Self-actualization		
3.31	自己成長感 Sense of Self-improvement		
	Sense of Personal Growth		
3.32	自己認識 Self-awareness		
3.33	自己認知 Self-cognition		

3.34	自己変容型知性	Self-transformative Intelligence	
3.35	自立革新型人材	Self-reliant Innovative Talent	
3.36	社会的関係形成力	Social Relationship-building Ability	
3.37	集団凝集性	Group Cohesiveness	---- 22
3.38	選択的認知	Selective Perception	
3.39	戦略的思考力	Strategic Thinking Skills	
3.40	組織	Organization	
3.41	組織運営, 組織管理	Organizational Management	
3.42	組織行動	Organizational Behavior	
3.43	組織社会	Organizational Culture Organizational Society	
3.44	組織社会化	Organizational Socialization	
3.45	組織能力	Organizational Capacity	
3.46	ダイバーシティ,イクイティ&インクルージョン	Diversity, Equity and Inclusion DEI	
3.47	他者志向動機	Other-oriented Motivation	
3.48	チーム学習	Team Learning	---- 23
3.49	チームの帰属意識	Team Cohesion	
3.50	チームの多様性	Team Diversity	
3.51	チームの発達段階	Stages of Team Development	
3.52	チームパフォーマンス	Team Performance	
3.53	チームマネジメント	Team Management	
3.54	トップダウン	Top-Down	
3.55	パフォーマンス管理	Performance Management	
3.56	フラット組織	Flat Organization	
3.57	ホラクラシー組織	Holacracy Organization	
3.58	リフレクション, 内省	Reflection	
3.59	ローカス・オブ・コントロール	locus of Control, LOC	---- 24
	3章用語 (英文) 索引		---- 25

注記)

1章は用語の出展となる参考文献を示した上で、極力リーダーシップ論の歴史順に整理した。章末に和文、英文の索引を掲載している。

2, 3章は和文用語を50音順に整理し、章末に英文の索引を掲載している。用語を和文で検索する場合は目次を活用されたい。